

アクティブラーニングの質の向上 － 認知学習論の視点から －

森 朋子 氏 (関西大学教育推進部・教授)

講演概要 日本教育政策は、質転換答申(2012)、高大接続答申(2014)、学習指導要領改訂(2017)をもって、一体化改革を推し進めている。「新しい能力」(松下 2013)を獲得し、予測不可能な社会で生徒や学生が生き抜くためには、アクティブラーニングの導入にとどまらず、その質の向上が必須である。本セミナーでは、認知学習論の観点から学生・生徒の学びの構造とプロセスを解明することの意義と、その知見を活かした授業デザイン原則について報告する。

2017年12月7日(木) 16:00 – 18:00

場 所 : 名古屋大学東山キャンパス 文系総合館 5F アクティブラーニングスタジオ

参加申込 : 下記ウェブサイトよりセミナー参加申込をお願いいたします。

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/seminarform.html>

○いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

○ご来場の際には、できる限り公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。
構内駐車された場合の用務証明書発行はいたしかねますので、ご了承ください。

お問合せ先 : info@cshe.nagoya-u.ac.jp Tel: 052-789-5696